

2014年9月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 米田 久美子

カンボジア国 国道5号線(中央区間)改修事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時 2014年8月8日(金)14:00～15:07
- ・場所：JICA 本部(111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：松下委員、松行委員、米田委員、早瀬委員(早瀬委員はメール審議にて参加)
- ・議題：カンボジア国 国道5号線(中央区間)改修事業 DFR 案についての助言案作成
- ・配布資料：
 - 1) カンボジア国 国道5号線(中央区間)改修事業 DFR 案
 - 2) 環境影響評価報告書(EIA)
 - 3) スコーピング案への助言対応表(中央区間、追加区間2部)
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第51回委員会)

- ・日時：2014年9月5日(金) 14:30～18:21
- ・場所：JICA 本部(会議室：1階 113 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. このプロジェクトによって地域の開発が進み、間接的・累積的影響として、道路周辺への商店や家屋が増加することが予測されることから、廃棄物減量化・適正処理対策及び生活排水等による水質汚濁対策を並行して進めていくよう、その重要性を最終報告書に記述するとともに、実施機関を通じて関係機関へ問題提起していくこと。

社会配慮

2. 表 15.6-5 Existing social infrastructures and services の項、供用時の影響について、地域分断は Pursat Bypass セクションだけではなく、拡幅による影響もあるので、それを含めて記述をすること。

以 上